

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-179	13-045	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Alcoholic beverage consumption by adults compared to dietary guidelines: results of the National Health and Nutrition Examination Survey, 2009-2010. 米国成人の飲酒量とガイドライン推奨量 ; NHANES 2009-2010 から		
執筆者		
Guenther PM, Ding EL, Rimm EB		
掲載誌		
J Acad Nutr Diet. 2013 Apr;113(4):546-50. doi: 10.1016/j.jand.2012.12.015. Epub 2013 Feb 13		
キーワード		PMID
飲酒、アメリカ人のための食生活指針(DGA)、24時間思い出し法		23415501
要 旨		
<p>目的： アメリカ人のための食生活指針(DGA)2010年版では、飲酒をするなら適度に、男性では2杯まで、女性では1杯までと述べている。この研究の目的はこの上限を超えているものの割合がどれほどか、男性で4杯以上、女性で3杯以上の大量飲酒者の割合がどれほどか推定することである。</p> <p>方法： 2009-2010年のNHANES(The National Health and Nutrition Examination Survey)の栄養に関するデータを解析した。コンピュータープログラムを用いた24時間思い出し法により21歳以上の男性2,740名、女性2,941名のデータを収集した。</p> <p>結果： 1日の飲酒量は男性で1.2杯、女性で0.4杯(1杯はエタノール14g)であった。ある1日の飲酒者の割合は男性で36%、女性で21%であった。男性の82%、女性の89%がDGAの基準を超えていなかったが、男性で4杯以上の大量飲酒者が8%、女性で3杯以上の大量飲酒者が3%であった。DGAの基準を超える飲酒をしていたものの割合は、どの年齢層にも分布しているが、最も多かったのは男性で31-50歳、女性で51-70歳であった。</p> <p>結論： 過剰飲酒は重要な健康課題であるが、若年者に限られたものではない。人の健康にかかわる職種は、アメリカの一般成人の過剰飲酒について注意する必要がある。飲酒者に対する教育的資源を活用すべきである。</p>		